令和７年度　公立学校教員採用候補者選考試験問題

特別支援教育　　１／６枚中

注意１　答はすべて解答用紙の解答欄に記入すること。
注意２　「障がい」の記載について、法令、学習指導要領、学習指導要領解説等からの引用によるものは、「障害」と表記した。
注意３　解答用紙への「障がい」の表記については、「障がい」、「障害」または「障碍」のいずれを記入してもよい。

第１問題　次の文は、「生徒指導提要」（文部科学省　令和４年12月）の一部抜粋である。後の問に答えよ。

13.1.2　発達障害に関する理解
（略）「発達障害者」とは、「発達障害がある者であって発達障害及び［　ア　］により日常生活又は社会生活に制限を受けるもの」であり、［　ア　］とは、「発達障害がある者にとって日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のものをいう。」とされています。この定義には、障害は個人の心身機能が要因であるという「［　イ　］モデル」と、「障害者の権利に関する条約」の中で示された障害は社会や環境の在り方や仕組みがつくりだしているという「［　ウ　］モデル」の二つの考え方が反映されています。

問１　［　ア　］～［　ウ　］にあてはまる語句を答えよ。

問２　生徒指導提要に例として示されている発達上の課題を推定するための検査のうち、「適応行動の発達水準」を捉えるために活用される具体的な検査名を、Ａ～Ｄから一つ選び、記号で答えよ。

Ａ　WISC-Ⅳ　　Ｂ　WISC-Ⅴ　　Ｃ　KABC-Ⅱ　　Ｄ　Vineland-Ⅱ

問３　発達障がいを含む特別な教育的ニーズのある児童生徒への支援については、校内における組織的対応が求められる。その際、中心的な役割を担う「特別支援教育コーディネーター」の役割について、簡潔に二つ記せ。

第２問題　次の文は、「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（中央教育審議会　令和３年１月）に記載されている「第Ⅱ部　各論６．遠隔・オンライン教育を含むICTを活用した学びの在り方について」の一部抜粋である。後の問に答えよ。

（３）特例的な措置や実証的な取組等
（略）
③個々の才能を存分に伸ばせる高度な学びの機会など新たな学びへの対応
（略）
○　義務教育段階において、ICTの活用等による［　ア　］な学習と、探究的な学習の充実を組み合わせるなど、カリキュラム・［　イ　］に係る学校裁量の幅の拡大の一環として、教科等の特質を踏まえつつ、教科等ごとの授業時数の配分について一定の弾力化が可能となる制度を設けるべきである。
○　また、特別な配慮を必要とする児童生徒に関して特別の［　ウ　］を編成し、多様なメディアを効果的に活用し遠隔教育を行うこと（やむを得ず学校に登校することができない児童生徒については、学校外における受講も認めること）について、特例的な措置を講じ、［　エ　］と遠隔教育とを最適に組み合わせた指導方法の研究開発に向けた実証研究を実施するべきである。
（略）

問１　［　ア　］～［　エ　］にあてはまる語句をＡ～Ｇから選び、記号で答えよ。

Ａ　効果的・効率的　　Ｂ　システム　　Ｃ　自立活動　　Ｄ　マネジメント　　Ｅ　教育課程
Ｆ　対面指導　　Ｇ　効率的

問２　下線部について、「病弱者である児童生徒に対する教育」を行う上で、指導の効果を高めるために考えられる活用例について、具体的に二つ記せ。

2025 kyosai-guild.jp

第3問題　次の文は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」に基づく、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本方針（令和6年4月施行）」の一部抜粋である。後の問に答えよ。

第2　行政機関等及び事業者が講ずべき障害を理由とする差別を解消するための措置に関する共通的な事項
（略）
3　合理的配慮
（1）合理的配慮の基本的な考え方
（略）
（合理的配慮の例）
・車椅子利用者のために段差に携帯スロープを渡す、高い所に陳列された商品を取って渡すなどの［　ア　］に係る対応を行うこと。
・筆談、読み上げ、手話、コミュニケーションボードの活用などによるコミュニケーション、振り仮名や写真、イラストなど分かりやすい表現を使って説明するなどの［　イ　］に係る対応を行うこと。
・障害の特性に応じた休憩時間の調整や必要なデジタル機器の使用の許可などの［　ウ　］を行うこと。

問1　［　ア　］～［　ウ　］にあてはまる語句をA～Eから選び、記号で答えよ。

A　物理的環境　　B　特別扱い　　C　ルール・慣行の柔軟な変更　　D　人的環境　　E　意思疎通

問2　「合理的配慮」に関する次の説明について、正しいものをA～Fから三つ選び、記号で答えよ。

A　合理的配慮の提供に当たっては、障がいのある人と事業者が話し合い、お互いに理解し合いながら共に対応案を検討することが重要である。
B　漠然としたリスク（「もし何かあったら･･･」）だけでも、合理的配慮の提供を断る理由になる。
C　視覚障がいのある人に対しては、一律に太いペンで大きな文字を書いて筆談を行うことが求められる。
D　障がいのある人から、何らかの対応を必要としているとの意思が示されたときには、負担が重すぎない範囲で、対応することが求められる。
E　合理的配慮の提供に当たっては、個別の事案ごとに判断する必要がある。
F　前例がないことは、合理的配慮の提供を断る理由になる。

問3　次の事例について、後の（1）～（3）に答えよ。

【事例】
小学校教師Aは、担任している児童Bの保護者から次のような連絡を受けた。
・昨日の連絡ノートに、「児童Bが国語の授業中、周りの友達は静かにしていたが、突然興奮し、大きな声をあげることがあった」と書かれていた。
・児童Bは、自閉症と診断されており、特定の音に対する①聴覚過敏がある。家でも消防車のサイレンの音が聞こえると耳をふさいで機嫌が悪くなることから、学校でも同じように特定の音に反応して興奮してしまっていると考えられる。
・落ち着いて集中して授業を受けることができるよう、②教室の窓を防音窓にしてほしい。

（1）下線部①への教育的対応として考えられることについて、簡潔に二つ記せ。

（2）下線部②のような要望が保護者からあった場合、どのような点に留意して検討していくことが大切か、簡潔に一つ記せ。

（3）次の文は、障害特性に応じた配慮や支援サービスの内容について問い合わせたい場合の相談機関を例示したものである。［　エ　］～［　カ　］にあてはまる語句を答えよ。

障害特性に応じた必要な配慮の内容について、［　エ　］相談支援センターや［　オ　］者支援センター、当該相談者が利用する相談支援［　カ　］や障害福祉サービス［　カ　］等、地域の障害者団体等、障害特性に関する専門性を有する機関・団体等に問い合わせることが考えられる。

2025 kyosai-guild.jp

第４問題　次の文は、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（令和３年法律第81号）」に示されている医療的ケアに関する記述である。後の問に答えよ。

第一章　総則

（略）

（定義）

第二条　この法律において「医療的ケア」とは、人工呼吸器による呼吸管理、［　ア　］その他の医療行為をいう。

２　この法律において「医療的ケア児」とは、日常生活及び社会生活を営むために［　イ　］に医療的ケアを受けることが不可欠である児童（［　ウ　］未満の者及び［　ウ　］以上の者であって高等学校等（学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部をいう。次条第三項及び第十四条第一項第一号において同じ。）に在籍するものをいう。次条第二項において同じ。）をいう。

問１　［　ア　］～［　ウ　］にあてはまる語句をＡ～Ｆから選び、記号で答えよ。

Ａ　十八歳　　Ｂ　一時的　　Ｃ　十六歳　　Ｄ　恒常的　　Ｅ　喀痰吸引　　Ｆ　栄養管理

問２　下線部について、**図１**は気管切開下陽圧人工呼吸の様子を表したものであり、次の文はその特徴を述べたものである。［　エ　］、［　オ　］にあてはまる語をＡ～Ｄから選び、記号で答えよ。

・気管切開下陽圧人工呼吸は、気管カニューレの装着により、安定した［　エ　］の確保と呼吸の補助が可能になる。
・気管切開下陽圧人工呼吸の短所として、気管出血・肉芽・潰瘍などの気管カニューレの合併症や、［　オ　］がしづらいことなどがあげられる。

Ａ　会話　　Ｂ　指導　　Ｃ　姿勢　　Ｄ　気道

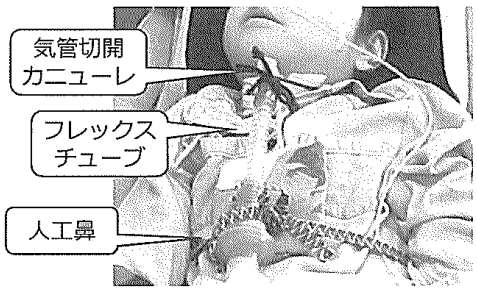


図１

（出典：「学校における教職員によるたんの吸引等（特定の者対象）研修テキスト（例）」文部科学省
「令和元年度　学校における医療的ケア実施体制構築事業（委託事業）」公益財団法人日本訪問看護財団作成のものを一部改変）

問３　人工呼吸器による呼吸管理（酸素療法を含む）を行っている医療的ケア児への教育活動を行うに当たって留意することを、簡潔に二つ記せ。

2025 kyosai-guild.jp

第５問題　次の文は、「食に関する指導の手引　第二次改訂版」（文部科学省　平成31年３月）の一部抜粋である。後の問に答えよ。

９　特別支援学校

障害のある児童生徒が、将来自立し、社会参加するための基盤として、望ましい食習慣を身に付け、自らの健康を自己管理する力や食物の安全性等を自ら判断する力などを身に付けることは極めて重要なことです。また、障害のある児童生徒にとって「食べること」とは、咀嚼（食物をかみ砕くこと）や嚥下（食物を［　ア　］こと）などの食べる機能の発達を促すだけではなく、食事に関する基本動作や、コミュニケーション能力、情緒面などの心身の調和的発達を促す重要な行為であると言えます。つまり、特別支援学校における食に関する指導は、小学校、中学校に準じて行うとともに、個々の児童生徒が自立を目指し、生命の維持や、健康状態の回復や保持、増進など、①障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な知識・技能、態度及び習慣を養うための教育活動として捉え、②指導を展開していく必要があります。

問１　［　ア　］にあてはまる言葉を答えよ。

問２　下線部①は、特別支援学校や特別支援学級の教育課程で設けられる特別な指導領域である自立活動を示している。自立活動の個別の指導計画の作成に当たっての手順として、Ａ～Ｅを適切な順に並び替え、記号で答えよ。

Ａ　指導目標（ねらい）の設定　　Ｂ　児童生徒の実態の把握　　Ｃ　具体的な指導内容の設定
Ｄ　指導すべき課題の抽出　　Ｅ　評価

問３　下線部②について、次の事例の生徒への自立活動の指導において、適切に意志や要求を伝える手段を育むことを指導目標とするとき、具体的な指導内容を記せ。

【事例】
特別支援学校中学部第２学年で自閉症のある生徒Ａは、給食の際、自分の給食を全て食べ終わった後で、さらに自分の好きな物を食べたいという欲求が勝り、隣の生徒の給食を食べてしまうことがあります。

第６問題　次の文は、「障害者の生涯学習の推進方策について　―誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して―（報告）」（文部科学省　平成31年３月）の一部抜粋である。後の問に答えよ。

２．障害者の生涯学習推進において特に重視すべき視点
（略）
（３）福祉、労働、［　ア　］等の分野の取組と学びの連携の強化
障害者は学校卒業後、企業等において就労したり障害福祉サービスを利用したりしながら社会生活を送ることが多い。日々の生活において円滑かつ継続的に学ぶことができるよう、生涯にわたる学びと福祉や労働、［　ア　］などの分野における取組との連携を強化する必要がある。

問１　［　ア　］にあてはまる語を答えよ。

問２　下線部について、一般企業等への就労を希望する障がい者に一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う障害福祉サービスは何か、答えよ。

2025 kyosai-guild.jp

問3　次の（1）～（3）の障害福祉サービスについて、適当なものをA～Eから選び、記号で答えよ。

（1）生活介護　　（2）就労継続支援（A型、B型）　　（3）グループホーム

A　夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行う。
B　自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、夜間も含め施設等で、入浴、排せつ、食事の介護等を行う。
C　一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う。
D　常に介護を必要とする人に、昼間、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供する。
E　医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の世話を行う。

第7問題　次の事例について、後の問に答えよ。

【事例】
・教師Aは、児童Bの担任である。
・児童Bは、①知的障がいのある児童に対する教育を行う特別支援学校小学部4年で、算数科では、②小学部3段階の目標及び内容に関することを、③文部科学省著作教科書「さんすう☆☆☆」を使って、友達と楽しく学習している。
・教師Aは、児童Bの④個別の指導計画を作成するために、校内の関係者と協議を始めた。

問1　下線部①について、知的障がいのある児童生徒の学習上の特性を説明した文として、誤っているものをA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

A　児童生徒が一度身に付けた知識や技能等は、着実に実行されることが多い。
B　学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活の場面の中で生かすことが難しい。
C　具体的な内容よりも抽象的な内容の指導が効果的である。
D　実際の生活場面に即しながら、繰り返して学習する継続的、段階的な指導が重要である。

問2　下線部②について、特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）（平成30年3月告示）では、知的障害のある児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科の目標と内容が学年ではなく、段階別で示されている理由について、「知的機能の障害」という語句を用いて、簡潔に記せ。

2025 kyosai-guild.jp

問3　下線部③について、図2は当該教科書の題材「かさをくらべましょう」を表したものである。本題材は、かさについて、2量や3量を直接比較することと任意単位となる別の容器に移して比べることをねらいとしている。図2の上段は、同じ形状、大きさの瓶に入った水の量を比較する課題である。この課題の学習を行う際に三つの留意点があり、一つは、「児童に瓶が同じ形状、大きさであることを確認すること」であるが、あと二つの留意点について、簡潔に記せ。

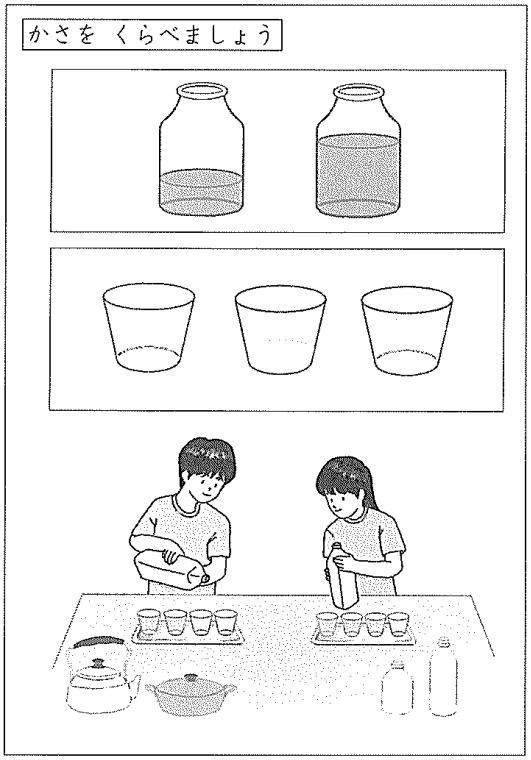


図2

問4　下線部④について、児童が指導内容を習得し指導目標を達成するために各教科の個別の指導計画において、付記すべき事項を何というか、答えよ。

第8問題　次の（1）～（5）が説明している事柄または用語を答えよ。

（1）オリンピック終了後に同じ開催地で開催される、障がい者スポーツの最高峰の大会（聴覚障がい者は除く）。

（2）周囲の環境から受けるストレスによって生じたストレス反応として状況に合わない心身の状態が持続し、それらを自分の意思ではコントロールできないことが継続している状態。

（3）音を増幅して話声の聴取を援助する機能を備えた携帯型の医療機器。

（4）視覚障がい者が、位置関係を把握するために、位置を時計の文字盤になぞらえる方法。

（5）日本語の50音表で表される仮名文字一つ一つを片手で表すことができるように考案されたもの。

2025 kyosai-guild.jp

令和7年度　解答用紙

特別支援教育	1／3枚中

受験番号

第1問題

問1	ア	社会的障壁 （2点）	イ	医学 （2点）	ウ	社会 （2点）
問2	D （1点）					
問3	外部の関係機関との連絡調整（3点）					
	保護者に対する相談窓口（3点）					

第2問題

問1	ア	A （2点）	イ	D （2点）	ウ	E （2点）	エ	F （2点）
問2	学校と入院中（療養中）の児童生徒がいる場所をつなぎ、同時双方向型の授業配信を行う。（3点）							
	タブレット型端末等を活用することにより、自身の理解度やペースに合った自習教材に取り組めるようにする。（3点）							

第3問題

問1	ア	A （1点）	イ	E （1点）	ウ	C （1点）		
問2	A （2点）		D （2点）		E （2点）			
問3	（1）	別の場所に移動し、気持ちを落ち着かせることができるように指導する。（3点）						
		イヤーマフやノイズキャンセリングヘッドホン等の音量を調節する器具の使用を認める。（3点）						
	（2）	落ちついて授業を受けるための必要かつ合理的な取組で、その実施に伴う負担が過重ではないか。（3点）						
	（3）	エ	基幹 （2点）	オ	発達障害 （2点）	カ	事業所 （2点）	

2025 kyosai-guild.jp

令和7年度　解答用紙

特別支援教育	2／3枚中

受験番号

第4問題

問1	ア	E （1点）	イ	D （1点）	ウ	A （1点）
問2	エ	D （1点）	オ	A （1点）		
問3	医療的ケア児を火気に近づけないように注意する。（2点）					
	酸素ボンベが転倒等した時は、マスクや人工鼻が外れていないか、酸素供給量が適切に保たれているかを確認の上、何か異常があればすぐに看護師等にその旨を伝える。（2点）					

第5問題

問1	ア	飲み込む （2点）								
問2	B	→	D	→	A	→	C	→	E	（順に正しく答えて3点）
問3	相手に自分が食べたい食物があることを伝えるために、カードを使ったり、簡単な身振りを交えたりして要求を伝える手段を広げる。（3点）									

第6問題

問1	ア	医療 （2点）				
問2	就労移行支援 （3点）					
問3	（1）	D （1点）	（2）	C （1点）	（3）	A （1点）

2025 kyosai-guild.jp

令和7年度　解答用紙

特別支援教育	3／3枚中

受験番号

第7問題

問1	C （2点）
問2	知的機能の障がいが、同じ学年であっても個人差が大きく、学力や学習状況が異なるため（3点）
問3	瓶が平らな場所に並んでいること（3点）
	水面に対して水平位置から見ること（3点）
問4	指導上の配慮事項 （3点）

第8問題

（1）	パラリンピック （2点）	（2）	情緒障害 （2点）	（3）	補聴器 （2点）
（4）	クロックポジション （2点）	（5）	指文字 （2点）		

2025 kyosai-guild.jp